

技術名 ハイパワースノーフェンス工法(HSF工法)	登録 No.
	(18D1036)

**施工内容**  
**工事名**：  
 緊地雪寒第5-09-00-01号  
 大崩岩山線緊急地方道(雪寒)工事  
**施工数量**：  
 L=130.5m  
**工期**：  
 平成19年8月9日～平成20年3月15日

**概要**  
 この工事は、大崩岩山線の防護施設として計画され、現地は地盤状況が悪い為、杭式の鉛直型雪崩予防柵として採択した。

**特徴**

- 1 地盤を大口径ホーリング工法等で削孔した後、杭式基礎として支柱を建て込むことができ、比較的軟弱な地盤の場合でも設置が可能です。
- 2 支柱を鉛直に建てるため、雪庇が出来にくい形状です。
- 3 大規模な掘削を行わないため、残土の発生や樹木の伐採を最小限に抑えられます。

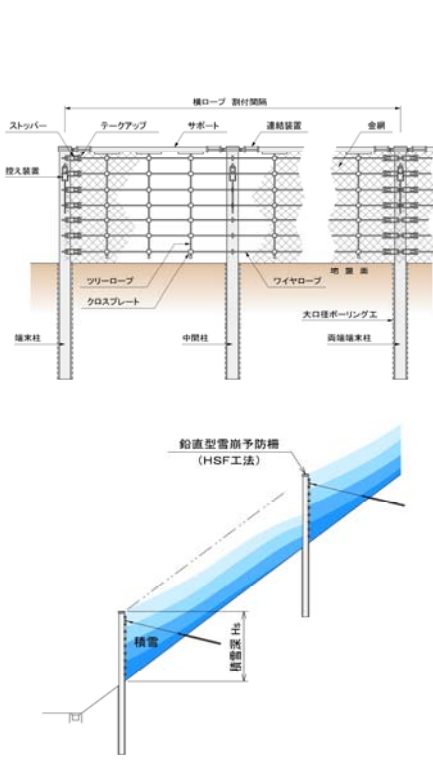
**実施結果**  
 比較した従来技術  
 「鋼製入型雪崩予防柵」  
 ・比較的緩い地盤のこの現場では、従来より経済的であった。  
 ・地山掘削、コンクリート打設がないことや構造が簡素であることから作業効率がよく工期短縮となった。  
 ・地山掘削、コンクリート打設がないことから、作業の安全性や施工性が向上した。  
 ・建設発生土が減少した。

**トライアル工事での評価結果**

◎ 経済性	○ 安全性
◎ 工程	○ 施工性
○ 品質	○ 環境

◎:優れている ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている ×:劣っている

**新技術問い合わせ先**  
 会社名 : 日本サミコン株式会社  
 所属部課: 技術営業部  
 担当者 : 村田 佳久  
 TEL : 025-286-5211



大口径ホーリング工



設置完了

<b>技術名</b> ハイパワースノーフェンス工法(HSF工法)	<b>登録 No.</b> (18D1036)
-------------------------------------	----------------------------

**施工内容**  
**工事名** : 一般県道 小栗山川口線 県単道路防雪対策工事  
**施工数量** : L=13m  
**工期** :  
 平成19年10月9日～平成20年3月11日

**概要**  
 この工事は、小栗山川口線の防護施設として計画され、現地は地盤状況が悪い為、杭式の鉛直型雪崩予防柵として採択した。

**特徴**

- 1 地盤を大口径ホーリング工法等で削孔した後、杭式基礎として支柱を建て込むことができ、比較的軟弱な地盤の場合でも設置が可能です。
- 2 支柱を鉛直に建てるため、雪庇が出来にくい形状です。
- 3 大規模な掘削を行わないため、残土の発生や樹木の伐採を最小限に抑えられます。

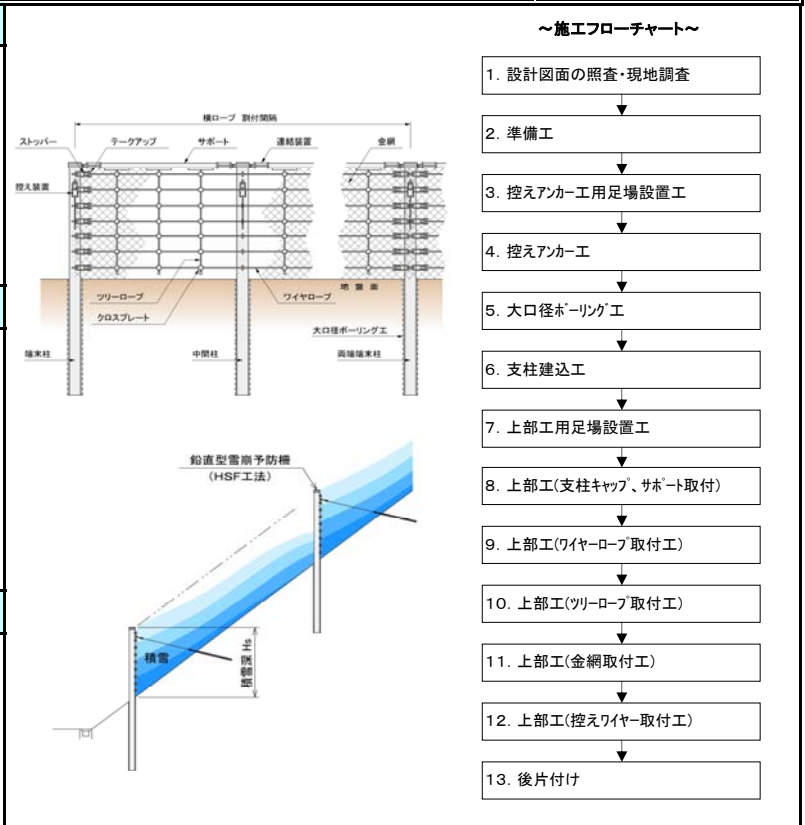
**実施結果**  
 比較した従来技術  
 「鋼製入型雪崩予防柵」  
 ・比較的緩い地盤のこの現場では、従来より経済的であった。  
 ・地山掘削、コンクリート打設がないことや構造が簡素であることから作業効率がよく工期短縮となった。  
 ・地山掘削、コンクリート打設がないことから、作業の安全性や施工性が向上した。  
 ・建設発生土が減少した。

**トライアル工事での効果**

◎ 経済性	○ 安全性
◎ 工程	○ 施工性
○ 品質	○ 環境

◎:優れている ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている ×:劣っている

**新技術問い合わせ先**  
**会社名** : 日本サミコン株式会社  
**所属部課**: 技術営業部  
**担当者** : 村田 佳久  
**TEL** : 025-286-5211



大口径ホーリング工



設置完了